

その時失われたもの その大きさ

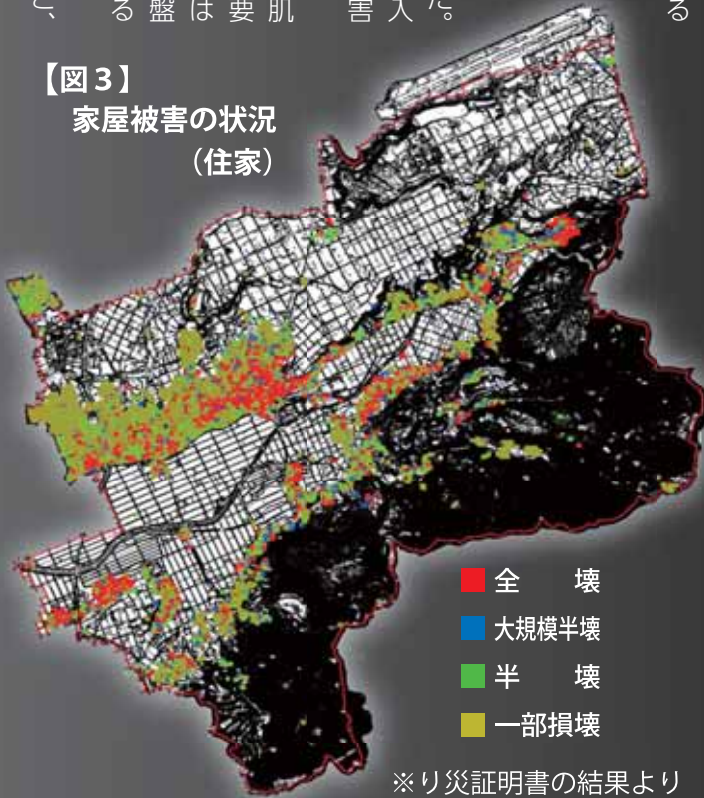
― 衝撃の爪痕 ―

大地震により、町は多くのものを失いました。何よりも大きな損失は尊い命であり、23人もの町民の方々が犠牲となってしまいました。また、大地震と頻発する余震は町中にさまざまな被害をもたらし、大きな爪跡を残しました。

その強烈な揺さぶりにより建物の多くがつぶされ、人々の平穏な生活が一瞬にして奪われてしまいました。町が行った家屋被害認定調査の結果によれば、特に断層の分岐地点付近の家屋が大きな被害を受けているのがわかります(図3参照)。また、家屋の損壊状況をみると、全壊が全体の約4分の1に上り、半壊以上は半数を超えています。生活インフラでは上下水道網が破壊され、ほぼ全戸が断水しました。道路は波打ち、いたる所で亀裂が入り路肩が崩落するなど、大きな被害を被りました。

山間部では、土砂崩れにより山肌があらわになり、落石が地域の重要な生活道路を寸断しました。川では一部の橋が崩落。堤防は緩み、地盤沈下と併せて6月21日の大雨による決壊の一因となりました。その他、農地が引き裂かれるなど、被害範囲は多方面にわたりました。

【図3】
家屋被害の状況
(住家)



【人的被害】

死 亡	23人
行方不明者	0人
重 傷	97人
軽 傷	31人

(平成 28年 9月 15日現在)

【家屋(住家)被害】

全 壊	2,714棟
大規模半壊	778棟
半 壊	2,131棟
一部損壊	4,558棟

(平成 28年 9月 15日現在)

- ①落石により通行不能となった内寺地区の町道 ②液状化現象で沈み込んだ電柱 ③中間部が折れ、崩落した田中橋 ④集落全域が大きな被害を受けた杉堂地区 ⑤道路が大きく裂け、通行止めとなった杉堂地区の県道熊本高森線と大規模な土砂崩れ ⑥多くの家屋が被害を受けた寺迫地区 ⑦断層が現れ、地盤が東西に約2mずれた堂園地区の畑地

